

令和元年度事業評価

課別評価シート

【子ども家庭部 子ども家庭支援センター】

目 次

- | | |
|-------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理 | P. 1 |
| 2 【子育て支援】分野の事業の評価 | P. 2 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
子01-01	子ども家庭相談事業
子01-02	児童虐待防止対策事業
子01-03	児童相談所設置に向けた検討
子02-01	親子ひろば事業

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | 終了済 → 昨年度までに終了した事業 |

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号		事業名		中間アウトカム			
子01-01		子ども家庭相談事業		子育て支援(B)			
				子育て支援(C)			
				H29	H30	H31	
				累計		3カ年計画	
主な取組	相談員行動回数	回	9,424	12,173		21,597	32,136
	事業費(千円)		29,635	28,517			
	行政コスト(千円)		67,951			進捗の課題	無
	所要人員		7,543	7,019			
	進捗の課題と改善策						

事業番号		事業名		中間アウトカム			
子01-02		児童虐待防止対策事業		子育て支援(B)			
				H29	H30	H31	
				累計		3カ年計画	
主な取組	要保護児童対策地域協議会等関係機関との連絡会	回	124	92		216	372
	事業費(千円)		8,852	4,465			
	行政コスト(千円)		40,104			進捗の課題	無
	所要人員		4,695	4,728			
	進捗の課題と改善策						

事業番号		事業名		中間アウトカム			
子01-03		児童相談所設置に向けた検討		子育て支援(B)			
				H29	H30	H31	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会:3回開催 ・検討部会:全10回開催(運営7、施設1、人事2) ・設置予定地の建物解体工事 		<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会:4回開催 ・検討部会:全6回開催(計画策定4、人事2) ・設置予定地のひろば整備工事 				
	事業費(千円)		77,503	32,683			
	行政コスト(千円)		21,601				
	所要人員		2,169	1,496			
	進捗の課題	有	進捗の課題と改善策	平成31年3月に「(仮称)文京区児童相談所基本計画」を策定しました。特別区が同時期に児童相談所を開設するため、計画において算出した職員数の確保及び派遣受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。			

事業番号		事業名		中間アウトカム			
子02-01		親子ひろば事業		子育て支援(D)			
				子育て支援(C)			
				H29	H30	H31	
				累計		3カ年計画	
主な取組	子育て支援講座(ぴよぴよHUGハグ)開催	回	13	13		26	39
	事業費(千円)		1,252	1,400			
	行政コスト(千円)		17,228			進捗の課題	無
	所要人員		4,327	5,385			
	進捗の課題と改善策						

2 【子育て支援】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【子ども家庭部 子ども家庭支援センター】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム(B) 子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	児童虐待が予防されている	現状維持	現状維持
子01-02	児童虐待防止対策事業	子ども家庭支援センター	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている	現状維持	現状維持
子01-03	児童相談所設置に向けた検討	子ども家庭支援センター	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容	(課題) 特別区が同時期に児童相談所を開設するため、区が想定する職員数の確保及び派遣の受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。 (方向性) 策定している職員の確保・育成計画を常に見直しできるように、人事担当と最新情報を共有し、連携して対応していきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31年3月に「(仮称)文京区児童相談所基本計画」を策定しました。職員数は、平成30年7月に公表された「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」に基づいた数値としています。				
課題及び今後の方向性の内容	課題:特別区が同時期に児童相談所を開設するため、計画において算出した職員数の確保及び派遣受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。 方向性:引き続き人事担当と連携し、児童相談所開設時に必要な職員の確保・育成に努力していくほか、必要に応じて計画について見直しを図って参ります。				
子01-04	乳幼児家庭支援保健事業	保健サービスセンター	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている		
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター(幼児保育課・保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている		
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・教育総務課・学務課)	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている		
生福02-01	母子生活支援施設設保護事業	生活福祉課	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている		

中間アウトカム(C)

子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子01-01	子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている	現状維持	現状維持
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子02-02	家庭教育支援の推進	教育総務課	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている		
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課(幼児保育課・児童青少年課)	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-02	子育て情報提供事業	子育て支援課	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-11	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サービスセンター	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている		
子04-13	文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している		
子08-01	母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している		
子08-02	子どもの貧困対策	子育て支援課(福祉政策課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・教育総務課・学務課)	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している		

中間アウトカム (D)

子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
子02-01	親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持	現状維持
子04-01	子育てひろば事業	子育て支援課 (幼児保育課・児童青少年課)	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-03	ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-04	一時保育事業	子育て支援課 (幼児保育課)	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-05	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子04-06	地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子04-07	地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している		
子05-01	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-02	保育園障害児保育	幼児保育課	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている		
子05-03	多様な保育サービス事業の実施	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-04	文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育課 (教育指導課)	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている		
子05-05	区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育課	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている		
子05-06	青柳保育園改築	幼児保育課	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている		
子05-07	区立幼稚園の認定こども園化	学務課 (教育指導課)	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている		
子05-08	区立幼稚園の預かり保育	学務課	園児が必要な保育を受けている		
子05-09	幼稚園特別保育	教育指導課	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている		
子05-10	育成室の整備拡充	児童青少年課	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている		
子05-11	育成室への障害児受入れ	児童青少年課	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている		
子05-12	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター (幼児保育課・保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている		
子06-01	病児・病後児保育事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している		
子06-03	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年課	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分